

特定非営利活動法人 心をつなぐホースセラピー ぐりん・はあと



生きづらさを感じている子どもや保護者を元気にし自己肯定感を高める支援

- 生きづらさを抱え、社会生活に適応できない子どもと、そうした子どもの子育てに苦慮する親が増えている現状を踏まえ、元気や自信を取り戻す場と活動を提供する。
- 作成した支援マニュアルを生かし「ホースセラピー」を中心の活動とする。また、希望者には、個別の相談活動の機会を設け、本人および親支援を充実させる。
- 子どもや保護者が、馬に癒され、心地よい時間を過ごすとともに、個別の対応を行い、心身共に健康で、自己肯定感に満ちた生き方ができることをめざす。

●活動内容

①生きづらさを抱えた子どもたちへのホースセラピー活動（乗馬・ふれあい）

- a. 受入れ&訪問・・・農園、ゆらぎのひろば、河川敷、園庭、運動場等で
- b. 同時相談・・・体験を行う子どもの保護者とのコミュニケーション、相談

②生きづらさを抱えた子どもたちの親の個別の支援（相談・支援活動）

- a. 個別を希望する保護者面談や支援
- b. 『おしゃべりカフェ』・・・困り感をもつ保護者の気楽な交流の場づくり

③生きづらさを抱えた子どもたちが「役に立てた感」をもてる場づくり

- ・馬のお世話人「駒っこ」の本格的な稼働・・・生きがいの場の一つに

●活動基盤の強化

○「活動の質の向上」と「スタッフの増員育成」

- ・ 昨期作成したマニュアルを活用した活動実践
- ・ スタッフ研修による人材育成
- ・ 効果測定（ループリック評価）を活かした活動実践
- ・ 多様なネットワークを生かしたスタッフ募集・増員

⇒スタッフ自らが活動を楽しみ、やりがいや喜びをもてるように！

●対象とする子どもたち・・・生きづらさを感じている子ども

- 性格、個性、身体的な特徴、発達特性、発達障がい、愛着不全、分離不安、親子関係、対人関係、集団の苦手さ、適応の苦手さ、HSC（繊細さ・敏感さ）など、多種多様

ホースセラピーの活動の様子



- ・原則、希望者
- ・一歩踏み込んだ助言や支援
- ・事前レポートで限られた時間を活用
- ・月に3人程度 ⇒ 実際には5人程度
- ・継続を希望する方も

[illegible]

不安事や悩み事を聞くこと、アドバイスや改善方法を伝えることができ、現状改善への期待感を持つことができた。本人も保護者が前向きな気持ち・姿勢になれた。

[illegible]

毎回の活動時に行う効果測定を活用（ループリック評価の手法を取り入れて）

●評価者

【個別の場合】本人、保護者に対して

【団体の場合】本人、保護者、相手方指導者

【スタッフ】団体の受入時および訪問時の指導スタッフ

※指導スタッフはGoogleフォームを活用

●活動基盤の強化

- ・それぞれに質問項目を設定
- ・活動直後に評価
- ・スタッフ間で共有
- ・次の活動時に生かす

東馬やふれあいに関する事後アンケート（2月26日）氏名（高木 俊羽）

評価項目	評価点・評価内容	評価
本人の満足度	事前の様子	4
	体験の時の様子	4
	体験後の様子	4
保護者の満足度	わが子への思い	4
	今後のこと	4
	気になったこと、感想など	

気になったこと、感想など

子供も楽しそうにやっていたのがうれしかったです。

日ごろと違う顔ぶれが楽しかったです。

ありがとうございました。

【本人・保護者用（個別）】

〔2月26日〕「東馬・ふれあいセラービー」先生・事後振り返り

評価項目	評価点・評価内容	評価
活動前に思っていたこと	4 子供たちが喜びを想像し、体験を待ち思っていた。	4
	3 子供たちにとって、良い体験なと思っていた。	
	2 ケガや事故がなく、無事に終わることができればと思っていた。	
先生の満足度	1 前から決まっていた行事なので、仕方ないという思いでやった。	4
	4 子供たちの意欲的な姿をみて、満足感で心地よい気分になり、実施したことに意義を感じた。	
	3 実施できて良かったと思った。	
今後の思い	2 無事に終わったと思った。	4
	1 やったことに意義を感じなかった。	
	4 次回または来年もこの体験ができれば、今から楽しみにする。	

気がついたこと、感想など

子供たちも楽しそうにやっていたのがうれしかったです。子供たちも楽しそうにやっていたのがうれしかったです。子供たちも楽しそうにやっていたのがうれしかったです。

子供たちも楽しそうにやっていたのがうれしかったです。子供たちも楽しそうにやっていたのがうれしかったです。子供たちも楽しそうにやっていたのがうれしかったです。

子供たちも楽しそうにやっていたのがうれしかったです。子供たちも楽しそうにやっていたのがうれしかったです。子供たちも楽しそうにやっていたのがうれしかったです。

【相手方の指導者】

質問① 活動前に思っていたことは？

7件の回答

100%

4 子供たちが喜びを想像し、体験を待ち思っていた。

3 子供たちにとって、良い体験なと思っていた。

2 ケガや事故がなく、無事に終わることができればと思っていた。

1 前から決まっていた行事なので、仕方ないという思いでやった。

質問② 体験している子どもたちを見て思ったことは？

7件の回答

100%

4 子供たちの意欲的な姿をみて、満足感で心地よい気分になり、実施したことに意義を感じた。

3 実施できて良かったと思った。

2 無事に終わったと思った。

1 子供たちにとって、良い体験なと思っていた。

質問③ スタッフとして役割を果たせたかどうか

7件の回答

42.9%

57.1%

4 子供たちの意欲的な姿をみて、満足感で心地よい気分になり、実施したことに意義を感じた。

3 実施できて良かったと思った。

2 無事に終わったと思った。

1 子供たちにとって、良い体験なと思っていた。

質問④ 今後への思い

7件の回答

100%

4 次回または来年もこの体験ができれば、今から楽しみにする。

3 次回または来年もこの体験ができれば、今から楽しみにする。

2 次回または来年もこの体験ができれば、今から楽しみにする。

1 次回または来年もこの体験ができれば、今から楽しみにする。

質問⑤ 今日の活動にスタッフとして参加し、どんなことを感じたか、思ったか、考えたりしましたか。

7件の回答

100%

4 子供たちの意欲的な姿をみて、満足感で心地よい気分になり、実施したことに意義を感じた。

3 実施できて良かったと思った。

2 無事に終わったと思った。

1 子供たちにとって、良い体験なと思っていた。

質問⑥ 今後のセラービーについて、感想や今後の見込みがあったら教えてください。

4件の回答

子供さんたちのその様子、こうしたい！と、体験できることがあったらいいと思う。

自由に活動し、ふれあう時間がたくさんあると思う。活動の楽しさを伝える時間があるといいと思う。

【指導スタッフ】

①得られた成果(本人)・・・コロナ禍において、野外の利点を生かし、感染対策のもと、計画以上に実施

★アウトプット【個別】日数14／32日間（44%）、人数46／90人（51%）

【団体（受入＆訪問）】 11/12校園 （92%）

★アウトカム＝ループリック評価による効果測定

【本人の事前期待度】は、3.61スコア／4段階 （3以上の評価は95.4%）

【本人の事後満足度】は、3.96スコア／4段階 （3以上の評価は97.7%）

②得られた成果(保護者)・・・コロナ禍において、野外の利点を生かし、感染対策のもと、計画以上に実施

★アウトプット＝計画通りに保護者との同時面談を実施。

【個別】 日数14／32日間 （44%）、人数46／90人（51%）

★ アウトカム・・・ループリック評価による効果測定

【保護者の事前期待度】は、3.95スコア／4段階 （3以上の評価は97.7%）

【保護者の事後満足度】は、3.96スコア／4段階 （3以上の評価は100%）

●活動の質の向上

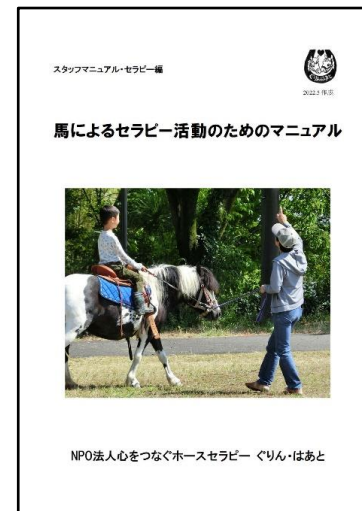
- ・ 昨年作成したマニュアルを活用したことで、スタッフの意識レベルが向上
- ・ 振り返りや研修により、基本事項の共通理解と徹底が進み、円滑に活動

●組織力の向上

- ・ 乗馬指導スタッフ 3名（3年間の目標をすでに達成）
- ・ 活動ボランティア（うま娘） 昨年の11名を維持
- ・ 馬の世話人会（駒っこ） 4人→さらに増え5名
- ・ 3年計画が2年間でほぼ実現でき、組織的運営力が向上

●活動の広がり

- ・ 医療機関や関係団体等との連携が増え、子どもをより深く理解して実施
- ・ セラピーの有効性が広まり、希望する個人・団体が増加



●財政基盤の強化

- ・ まだまだ助成金に依存している状況
- ・ 後半期に、「ぐりん・はあと子ども未来基金」として、寄付金や協賛企業の募集を開始予定

●情報発信の強化

- ・ 十分に手が回っていないのが現状
- ・ SNS（Facebookページ）等での発信に力を注げる体制（担当）を確立

●生きづらさを感じている子どもやその親を支援するネットワークづくりの準備

- ・ 受け入れ可能な居場所やより所との繋がりを作る。
- ・ 支援を受けられる場所を増やすことで、本人や保護者のニーズに応える。
- ・ ノウハウの交流を通じて、多様なニーズに応える。